

2024年2月9日

MIRARTHホールディングス株式会社

「LS 鹿児島大崎第1・第2太陽光発電所」竣工式実施のお知らせ
～ 当社グループにおける九州エリア最大規模の太陽光発電所 ～

MIRARTHホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役：島田和一）は、2月7日に鹿児島県曾於郡大崎町で「LS（レーベンソーラー）鹿児島大崎第1・第2太陽光発電所」の竣工式を行いましたのでお知らせいたします。



■ MIRARTHホールディングスグループが取り組むエネルギー事業

当社グループのエネルギー事業は、2013年のメガソーラー事業への参入以来、事業規模を年々拡大しており、2021年には「バイオマス発電事業」、「風力発電事業」にも参入いたしました。引き続きレーベンクリーンエナジーを中心に、SDGsの掲げる「7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「13：気候変動に具体的な対策を」の達成、またCO2排出量の削減と電力供給の安定化に努めてまいります。

エネルギー事業を担うレーベンクリーンエナジーは、これまでに全国で200か所以上の高圧太陽光発電所の開発実績を有し、太陽光発電を中心とする再生可能エネルギー事業の開発・運営・管理を行っています。現在では、カンボジアにおいて現地法人を設立し、同国産カシューナッツ殻を活用したバイオマス燃料化事業にも着手するなど、事業領域を拡げております。

今後も、PPAを中心とするFIT（固定価格買取制度）に依存しないビジネスモデルの構築を図ってまいります。

■ 「LS 鹿児島大崎第1・第2太陽光発電所」の特長

「LS 鹿児島大崎第1・第2太陽光発電所」は、4サイトにて約22MWを確保、FIT制度を活用し、発電した電力の全量を一般送配電事業者に売電いたします。MIRARTHホールディングスグループがこれまでに開発してきた太陽光発電所としては、「LS 千葉勝浦発電所」（発電容量約30MW）に次ぐ、2番目に大きい発電所になります。受電地点の鉄塔まで約10kmの自営線（電柱：約300本）を構築、治水対策として防災調整池を7基設置しており、非常にスケールの大きな発電所でありながらも、周辺環境に配慮した設計になっております。

年間発電量は約2,660万kWhを想定しており、一般家庭に換算すると約7,800世帯分の年間使用電力量に相当する発電量となります。MIRARTHホールディングスグループは、未来環境デザイン企業として、引き続き再生可能エネルギー由来の電力の普及を通じ、地域活性化と脱炭素社会の実現、地域環境課題の価値向上に努めてまいります。



■ 発電所概要

物件名：LS（レーベンソーラー）鹿児島大崎第1・第2太陽光発電所
所在地：鹿児島県曾於郡大崎町野方字並木段3970-1、他
面積：約370,000㎡
発電容量：22,366.8kW
想定年間発電量：約2,660万kWh
売電単価：18円/kWh

■ 施主挨拶

MIRARTH ホールディングス 代表取締役 島田和一 コメント

不動産事業に次ぐ第2の事業の柱であるエネルギー事業は、新規事業として2013年2月に発表して以来、11年目を迎えました。当社グループで保有する発電所の累計は、2023年9月末時点で約360MWの規模となり、今回竣工いたしました「LS 鹿児島大崎第1・第2太陽光発電所」は、およそ22MWの発電規模を有し、当社グループが九州エリアにて稼働する発電所としては最大規模となります。

年間発電量は約2,660万kWhを想定しており、一般家庭約7,800世帯分の年間使用電力量に相当する発電量となります。

発電所の建設に際しましては、鹿児島県庁、大崎町役場を始めとした行政の方々、周辺にお住まいの皆様方の多大なるご理解ご協力を賜りました。また、工事にあたり、EPC事業者様をはじめ、多数の企業様にお力添え、ご尽力をいただき、改めて御礼申し上げます。

最後になりますが、本日ご参列くださいました皆様方の益々のご健勝、ご発展をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は誠に有難うございました。

■ 会社概要

商 号 : MIRARTH ホールディングス株式会社
代 表 者 : 代表取締役 島田 和一
所 在 地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング 16F
設 立 : 1972年9月
事 業 内 容 : グループ会社の経営管理等
資 本 金 : 4,819百万円
U R L : <https://mirarth.co.jp>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

MIRARTH ホールディングス株式会社
グループ広報部 広報課
担当：山田
Mail : gr.koho@mirarth.co.jp